

令和6年司法試験合格体験記

令和4年度修了（未修コース）直井 美紗希

私は司法試験受験2回目で合格しました。失敗は成功のもとという言葉もあるので、まず失敗した1回目の受験のことを書きたいと思います。

私は1回目の受験の約1年前に体調を崩し、勉強が全く手につかない状態になっていました。そういった状態になってしまったのは、未修1・2年目に無理をしすぎたことが原因です。

他大学の理系学部から3年生の時に法学部に転学した私は、2年しか法学部に在籍しておらず、単位取得に追われて十分な勉強ができていませんでした。そのため、周りより遅れていると思い、がむしゃらに勉強していました。今の私であればそこまでは頑張れないと思います。

また、私は常に勉強以外は排除すべきという強迫観念にかられていました。例えば、友人と遊んでいる時、勉強のことが頭から離れず、遊んだ後も勉強していなかった時間を取り戻さなければと焦っていました。このように、自分を身体的にも精神的にも追い込むことが司法試験合格につながると考えていました。

しかし、司法試験の受験は長距離走のようなもので、受験時に体力を残しておく（できればピークをもってくる）必要があります。それ故に、最初から飛ばすような私のやり方は明らかに誤りでした。

正直、岡大ローの授業やゼミでしっかり勉強をすれば司法試験合格に必要な力はあると思います。そのため、自分の精神面を意識して、受験時に体力を残すにはどう過ごしたらいいかを考えることが大切だと思います。

1回目の反省を活かし、2回目は自分の精神面を整えることに重きを置いていました。具体的には、趣味だったダンスを3年ぶりに始めたり、旅行に行ったりして勉強以外の時間を意識的に作りました。これにより徐々にこうした時間が司法試験合格のために必要と感じるようになり、勉強と勉強以外の時間でメリハリをつけられるようになりました。そのおかげか少ない勉強時間でも合格することができました。

ローという閉鎖空間にいと、勉強が全てという考えになりがちですが、私のような失敗例をみてその考えが危ういかもしれないと感じ、少し立ち止まる機会になればと思います。